

STAGE+を楽しむ(154)(HP 収載)
—モンテヴェルディのマドリガーレ—

1. 始めに

前報(153)に引き続き、STAGE+のモンテヴェルディのマドリガーレの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はモンテヴェルディのマドリガーレの演奏を選びました。

収録配信 2024年4月14日 3:00

モンテヴェルディのイタリアを巡る旅：マントヴァ

モンテヴェルディ合唱団

再配信 2024年4月14日 9:00

再配信 2024年4月14日 20:00

ガーディナー率いるモンテヴェルディ合唱団とイングリッシュ・バロック・ソロイストによる“モンテヴェルディが見たイタリア”を巡る旅をお届けします。演奏会の会場はマントヴァのドゥカーレ宮殿にある「鏡の間」。こちらは彼が作曲した最初のオペラ《オルフェオ》が初演された場所と伝えられています。マントヴァ公爵ヴィンチェンツォ1世・ゴンザーガは16世紀から17世紀初頭にかけて、ヨーロッパで最も偉大な詩人や芸術家、音楽家のパトロンでした。演奏プログラムにはこの宮廷と直接関係のあった詩人たちや、イタリア人文主義の父ペトラルカのテキストによるマドリガーレなども含まれています。

演奏:

イングリッシュ・バロック・ソロイスト、モンテヴェルディ合唱団

指揮:

ジョン・エリオット・ガーディナー

曲目:

クラウディオ・モンテヴェルディ マドリガーレ第4, 6, 8巻より抜粋



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpLを接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencerとルーターに対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンプ端子を装着しています。

2024年4月14日 9:00の再配信を試聴しました。予告なく定刻前にいきなり配信が始まりましたが、過去の収録の抜粋のようでした。

ガーディナーの解説を挟みながら、演奏が進行しますが、合唱もアンサンブルも小編成で、アンサンブルにはアーチリュートやハープの演奏が見えます。また、アカペラの合唱もあります。

合唱の分離と協和もしっかり聴き取れ、合唱とソリストの歌唱は、モンテヴェルディゆかりのマントヴァのドゥカーレ宮殿にゆたかに響きますし、リュートやハープや通像低音も質感が良く出ています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LAN ポートにフェルトダンプ端子を装着したことで、モンテヴェルディのマドリガーレで表情豊かに演奏されていることが分かりました。

以上